

事務事業名		新庁舎建設事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進		所属G	新庁舎建設推進	課長名	日野 誠
	施策名	(37)時代にあった行政サービスの実現		担当者名	渡部泰昌	電話番号	0854-40-1025
	目的:対象	行政機能	意図	効率、公平なサービスを提供する。		(内線)	3559
	基本事業名	(111)公共施設の見直し		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	庁舎施設整備事業	
目的:対象	公の施設	意図	見直しを図る。		項 目 中事業 中事業名	新庁舎建設事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 24 年度～ 27 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
H24年度: 基本設計作成 H25年度: 実施設計作成 用地取得造成工事 H26～H27年度: 庁舎建設工事、周辺整備工事

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・実施設計作成 ・用地取得 ・造成工事 ・建築工事発注		26年度計画(26年度に計画する主な活動) ・庁舎建設工事 ・周辺整備工事		
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	内部協議	回		19	10	10
イ	設計協議	回		19	20	10
ウ	市民ワークショップ	回		3	0	0
エ	施工者協議	回		0	0	40

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	行政機能	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア	庁舎施設	棟			5	5	5
	イ							
	ウ							
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	組織機構の見直しや定員管理計画等を踏まえた庁舎建設を実施することにより、行財政改革実施計画に対応した行政機能改革が行え効率的な行政サービスの提供が可能となる。	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
ア	事業進捗率	%			2.7	11.0	51.7	
イ								
ウ								

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
・実施設計業務委託費等 92,775千円 ・用地取得費、補償費 196,230千円 ・造成工事費等 27,084千円 ・事務費 2,138千円	財源内訳	千円				20,000
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		62,700	287,600	1,458,600
	その他	千円				78,000
	一般財源	千円		39,407	30,627	2,237
	事業費計(A)	千円		102,107	318,227	1,558,837
人件費	正規職員従事人数	人		1	2	
	延べ業務時間	時間		1,810	3,718	
	人件費計(B)	千円		7,092	14,474	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		109,199	332,701	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
建設工事を取り巻く状況は、東日本大震災復興事業の本格化、アベノミクスによる官民工事の増加、東京オリンピック・パラリンピックの決定等を要因に、労務単価及び資材費の上昇や労働力不足が顕著となった。このことから建設工事費が大幅に上昇し、入札不調も急増した。	特になし	・労務費、資材費の高騰による事業費の増加 ・労務費、資材費の高騰に対する業者への対応

事務事業名	新庁舎建設事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業計画に基づく進捗であり向上余地はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	類似事業はない	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の縮減及び財政負担の軽減を意識し進めているが、近年の労務費・資材費については依然上昇傾向にあり事業費増大の懸念もある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	過大な人員配置となっていない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	行政運営に必須の施設である	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 事業意図を理解し、関係者等からの意見を踏まえた事業推進を行った。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
平成27年度事業完了とした事業スケジュールに沿った整備を進める	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		